



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年7月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ブルボン

コード番号 2208 URL <https://www.bourbon.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 康

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務 (氏名) 山崎 幸治 TEL 0257-23-2333

四半期報告書提出予定日 2023年8月8日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	24,850	8.5	670	36.7	876	△3.0	533	△7.4
2023年3月期第1四半期	22,912	△3.1	490	△67.5	904	△43.9	576	△46.9

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 595百万円 (31.6%) 2023年3月期第1四半期 452百万円 (△50.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	22.21	ー
2023年3月期第1四半期	23.98	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	85,446	53,823	63.0	2,240.37
2023年3月期	87,630	53,540	61.1	2,228.59

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 53,823百万円 2023年3月期 53,540百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	ー	13.00	ー	13.00	26.00
2024年3月期	ー				
2024年3月期(予想)		13.50	ー	13.50	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	45,000	4.8	300	ー	400	82.1	300	144.1	12.49
通期	102,000	4.7	3,000	85.9	3,200	74.1	2,200	100.6	91.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	27,700,000株	2023年3月期	27,700,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	3,675,613株	2023年3月期	3,675,613株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	24,024,387株	2023年3月期1Q	24,024,387株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、社会経済活動の復調が消費者心理を下支えたことで個人消費に持ち直しの動きがみられ、景気は緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、足元では物価上昇による実質賃金の伸び悩み、さらには海外主要国における金融引き締めや為替の影響など、景気下振れリスクに注視が必要な状況が続いています。

菓子・飲料・食品業界は、原材料、エネルギー価格が高止まりする環境の中、各種価格上昇の影響による消費者の生活防衛意識の高まりから、低価格志向への対応が求められました。

このような状況下、当社グループは食品製造企業として一貫して品質保証第一主義に徹し、安全で安心な実質価値の高い商品の安定した供給と、消費者ニーズにお応えしたサービスの提供など、顧客満足度の向上に向けた活動を推進してまいりました。具体的には、感染症の影響緩和に伴って高まった行楽、イベント需要に対応した取り組みや、健康志向ニーズにお応えした商品の展開などを行い、求められる価値の実現に機敏かつ柔軟に取り組みました。あわせて、企画提案型の営業活動と店頭フォローを積極的に行い、お客様の笑顔と満足につながる活動を推進してまいりました。

その結果、鶏卵の不足と価格高騰による影響を受けた品目があったものの、ビスケット品目、チョコレート品目が順調に推移し、実質価値観の高さにより「プチ」シリーズにもご好評をいただいたことなどから、売上高は前年同期を上回りました。利益面では、生産性の向上とコストの削減、経費の効率的な使用に取り組んだことに加え、売上高の伸張により営業利益は前年同期を上回りました。一方で、為替差益が減少したことで経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期を下回りました。

営業品目別の概況

菓子の合計売上高は、23,884百万円（対前年同期比109.0%）となりました。

菓子では、ビスケット品目を中心として、豆菓子、キャンデー、デザート、米菓、スナック、チョコレートなどの品目を展開しています。

ビスケット品目は、期間限定商品として「アルフォートチョコバナナ」や「エリーゼバナナラテ」など、バナナのまろやかな甘さを取り入れた商品を展開し活性化を図りました。また、「贅沢ルマンド」シリーズに、宇治抹茶を使用した商品を発売したことに加えて、継続したプロモーションによるブランド認知の向上を図りました。さらには「シルベース」シリーズに、さくらんぼ風味のチョコレートケーキ「シルベースフォレノワール」を発売し、付加価値を高めた商品展開を行いました。品目全体では、値ごろ感のあるファミリーサイズ商品群や「チョコあへんぱん」シリーズ、「エリーゼ」シリーズも順調に推移しました。

チョコレート品目は、「アルフォートミニチョコレート」シリーズに、宇治一番茶を使用し濃厚で香り高い味わいに仕立てた「アルフォートミニチョコレート雅抹茶」を発売しました。「ひとくちルマンド」シリーズでは、さらにサクサクとした食感を高めた「ひとくちルマンドクリスピーソルト」を発売し、シリーズ商品全体の活性化を図りました。

多様な品ぞろえとサイズや量目をご好評をいただいている「プチ」シリーズでは、販促物を活用した売場提案を積極的に行い、イベントや行楽に合わせた展開とキャンペーンの実施によるブランドの活性化に取り組みました。あわせて、夏祭りの屋台の味をイメージした「プチチョコバナナクッキー」「プチ焼きもろこしチップ」などを発売し、品ぞろえ強化による“選ぶ楽しさ”の提供にも努めました。

菓子全体では、前年同期を上回りました。

飲料・食品・冷菓・その他の合計売上高は、965百万円（対前年同期比95.8%）となりました。

飲料品目は、キャラクターをデザインした商品の取り扱いが拡大しミネラルウォーター商品群が順調に推移したことに加え、インバウンド需要が回復傾向にあったことから「おいしいココナッツミルクPET430」がご支持をいただきました。

食品品目は、「のせて焼くフレンチトースト風シート」をはじめとした「かんたんクッキング」シリーズが順調に推移しました。また、機能性食品群では、「スローバー」シリーズが順調に推移したことに加え、不足しがちな栄養素を補える「しっとりソフトクッキーカルシウム」「しっとりソフトクッキー鉄分」を発売し、品ぞろえの強化を図りました。

冷菓品目は、地域特産原料を使用したモナカアイス「久米島の紅いもアイス」を発売しました。「ルマンドアイス」シリーズでは、鮮度にこだわった売場展開を実施しご好評をいただきました。

飲料・食品・冷菓全体では、既存品で伸び悩んだ商品群があったことから、前年同期を下回りました。

その他では、通信販売事業は、季節に合わせた商品展開や催事に向けた企画商品、ECチャネル限定商品などの展開により活性化を図り、継続的な販路拡大とリピーターの増加に取り組みました。

自動販売機事業は、新エリアへの展開と既存設置エリア内での新規開拓に努めるとともに、設置場所の改善や配送の効率化などの収益性向上に継続して取り組みました。

酒類販売事業は、飲食品ルート向け商品や輸出商品の堅調な推移に加え、限定醸造商品を発売したナショナルブランド商品も順調に推移しました。

以上の営業活動により業績の向上に努めてまいりました結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は24,850百万円（対前年同期比108.5%）、営業利益は670百万円（対前年同期比136.7%）、経常利益は876百万円（対前年同期比97.0%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は533百万円（対前年同期比92.6%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は38,146百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,270百万円減少となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の減少と商品及び製品の増加があったことによるものです。固定資産は47,300百万円となり、前連結会計年度末に比べ85百万円増加となりました。

この結果、総資産は85,446百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,184百万円減少となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は22,198百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,357百万円減少となりました。これは主に、未払費用の減少と法人税等の支払による未払法人税等の減少、賞与の支給による賞与引当金の減少があったことによるものです。固定負債は9,424百万円となり、前連結会計年度末に比べ110百万円減少となりました。

この結果、負債合計は31,623百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,467百万円減少となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は53,823百万円となり、前連結会計年度末に比べ282百万円増加となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上および剰余金の配当があったことによるものです。

この結果、自己資本比率は63.0%（前連結会計年度末61.1%）となりました。

・連結キャッシュ・フローの状況に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は15,987百万円となり、前連結会計年度末（16,183百万円）に比べ195百万円減少となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は2,392百万円（前年同期1,607百万円の支出）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益852百万円と売上債権の減少額2,810百万円および未払費用の減少額1,211百万円があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は2,170百万円（前年同期1,018百万円の支出、対前年同期比213.1%）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,905百万円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は449百万円（前年同期423百万円の支出、対前年同期比106.2%）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出77百万円および配当金の支払額312百万円があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年4月28日の「2023年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,183	15,987
受取手形及び売掛金	13,761	10,953
商品及び製品	4,370	5,317
仕掛品	614	645
原材料及び貯蔵品	4,624	4,568
その他	866	678
貸倒引当金	△4	△3
流動資産合計	40,416	38,146
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	17,228	17,129
機械装置及び運搬具（純額）	10,765	10,356
その他（純額）	10,929	11,445
有形固定資産合計	38,922	38,932
無形固定資産		
のれん	748	719
その他	541	747
無形固定資産合計	1,289	1,467
投資その他の資産		
その他	7,002	6,900
投資その他の資産合計	7,002	6,900
固定資産合計	47,214	47,300
資産合計	87,630	85,446

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,913	10,954
短期借入金	2,310	2,310
未払法人税等	491	99
賞与引当金	1,308	566
その他	9,531	8,267
流動負債合計	24,555	22,198
固定負債		
社債	100	100
長期借入金	2,676	2,598
役員退職慰労引当金	286	289
退職給付に係る負債	5,500	5,487
負ののれん	11	10
その他	961	937
固定負債合計	9,534	9,424
負債合計	34,090	31,623
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,036	1,036
資本剰余金	6,790	6,790
利益剰余金	46,715	46,936
自己株式	△941	△941
株主資本合計	53,600	53,821
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	607	785
為替換算調整勘定	△753	△868
退職給付に係る調整累計額	86	84
その他の包括利益累計額合計	△60	1
純資産合計	53,540	53,823
負債純資産合計	87,630	85,446

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	22,912	24,850
売上原価	17,382	19,165
売上総利益	5,529	5,684
販売費及び一般管理費	5,039	5,013
営業利益	490	670
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	45	61
受取賃貸料	3	3
為替差益	346	155
負ののれん償却額	0	0
その他	22	15
営業外収益合計	420	237
営業外費用		
支払利息	0	2
持分法による投資損失	—	21
減価償却費	4	5
賃貸収入原価	2	2
その他	0	0
営業外費用合計	7	31
経常利益	904	876
特別利益		
投資有価証券売却益	34	0
特別利益合計	34	0
特別損失		
固定資産処分損	3	1
減損損失	2	—
投資有価証券評価損	22	23
特別損失合計	28	24
税金等調整前四半期純利益	910	852
法人税、住民税及び事業税	43	49
法人税等調整額	290	268
法人税等合計	334	318
四半期純利益	576	533
親会社株主に帰属する四半期純利益	576	533

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	576	533
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10	178
為替換算調整勘定	△142	△114
退職給付に係る調整額	7	△1
その他の包括利益合計	△123	61
四半期包括利益	452	595
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	452	595
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	910	852
減価償却費	1,058	1,061
のれん償却額	28	28
受取利息及び受取配当金	△47	△63
負ののれん償却額	△0	△0
支払利息	0	2
持分法による投資損益 (△は益)	—	21
為替差損益 (△は益)	△301	△137
投資有価証券売却損益 (△は益)	△34	△0
固定資産処分損益 (△は益)	3	1
減損損失	2	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	22	23
売上債権の増減額 (△は増加)	2,925	2,810
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,860	△912
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,105	31
未払費用の増減額 (△は減少)	△1,414	△1,211
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	5	3
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	20	△14
その他	△1,133	201
小計	△919	2,698
利息及び配当金の受取額	47	63
利息の支払額	△0	△2
法人税等の支払額	△734	△367
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,607	2,392
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△915	△1,905
投資有価証券の取得による支出	△54	△3
投資有価証券の売却による収入	36	0
その他	△85	△261
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,018	△2,170
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△52	△77
リース債務の返済による支出	△70	△60
配当金の支払額	△300	△312
財務活動によるキャッシュ・フロー	△423	△449
現金及び現金同等物に係る換算差額	40	32
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,009	△195
現金及び現金同等物の期首残高	16,793	16,183
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,783	15,987

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。